

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	SOSiLA厚木上依知新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県厚木市上依知字鬼ヶ谷704-1	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分		年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2024年8月21日
敷地面積	33,259 m ²	作成者	浅井謙建築研究所(株)一級建築士事務所
建築面積	19,191 m ²	確認日	2024年8月22日
延床面積	74,284 m ²	確認者	浅井謙建築研究所(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> JR相模線線原当麻駅からバスで30分の工業専用地域に、工場単一用途の倉庫業を含む倉庫を、S造、4Fにて計画した。 		<ul style="list-style-type: none"> 特に無し。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 対象外。 	<ul style="list-style-type: none"> 給排水配管は上位3種がB以上、Eは不使用。 階高、壁長さ比率等空間のゆとり配慮している。 積載荷重等荷重のゆとり配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 外装の色彩は、周辺のまちなみや風景にバランス良く調和させて、外周部は植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 対象外。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動水栓の採用に加え、節水型便器を採用。 リサイクル資材3品目以上採用。 部材の再利用可能性向上の為、LG下地を採用。 ODP=0とGWP=1を用いた断熱材等を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染防止に配慮し、燃焼機器を使用していない。 フェックリストの過半を満たす、広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される